

痛風・高尿酸血症で フェブキソスタット錠・OD錠「明治」 をお飲みになる方へ

監修 大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学
講師 藏城 雅文 先生



フェブキソスタット「明治」は、体内で尿酸を作る酵素の働きを抑えて、血液中の尿酸の濃度(尿酸値)を下げるお薬です。
痛風や高尿酸血症の治療に用いられます。

お薬を飲むときに・・・

自己判断でお薬を止めないようにしましょう

このお薬を服用中に、痛風発作(痛み)が起きた場合、自分の判断で飲むのを止めたり、飲む量を減らさないでください。発作がかえってひどくなることがあります。気になる場合は、医師や薬剤師にご相談ください。
痛風発作時の治療については、医師又は薬剤師にご相談いただくか、あらかじめ指示された痛み止めなどを併せてお飲みください。

次のような症状があらわれたときは医師や薬剤師にご相談ください

全身がだるい、食欲がない、皮膚や白目が黄色くなる、全身の皮疹や発疹、動悸、下痢
*このほかにも気になる症状があらわれたときには医師や薬剤師にご相談ください。

お薬を飲み忘れた場合

お薬の飲み忘れに気づいたら、できるだけ早く1回分をお飲みください。
次に服用するタイミングが近い場合は、次回まで待ってお飲みください。

OD錠の服用方法

OD錠は、少量の水でも崩壊しやすいよう改良された製剤です(唾液でも溶けます)。普通のお薬と同じように水でも服用することができます。
なお、寝たままの状態では水なしで服用しないでください。

*フェブキソスタット錠・OD錠には『錠剤』と『OD錠』があります。『OD錠』はPTPシート又はお薬に『OD』と記載されています。

痛風・高尿酸血症の

生活習慣

改

善

ポイント



フェブキソスタット錠・OD錠[明治]は「痛風、高尿酸血症」と「がん化学療法に伴う高尿酸血症」の効能・効果があります。以下は痛風、高尿酸血症の方向けの内容になります。がん化学療法を受けている方は、医師又は薬剤師の指導にしたがってください。

痛風・高尿酸血症の治療には、お薬の服用にかかわらず食事・運動などを見直す生活習慣の改善が重要になります。

毎日の食事に注意しましょう

- **食事全体のカロリーを抑えて、バランスのよい食事を心がけましょう。**
肥満の人は尿酸値が上昇しやすくなります。バランス良くいろいろな食材をとり、全体のエネルギーを抑え、肥満を解消しましょう。

とりすぎ注意！

動物の内臓、肉や魚などにプリン体は多く含まれています。プリン体の多い食事のとり過ぎに注意しましょう。

プリン体を多く含む食品



レバー



肉類



干物類

など

積極的に摂取！

尿が酸性になると尿路結石が起きやすくなります。尿を中性に近づける食品を積極的にとりましょう。また、1日2L以上の尿がでるようにお茶やお水で水分を多くとりましょう。

尿を中性に近づける食品



ひじき



わかめ



大豆

など

アルコールの摂取はほどほどに

ビールに限らず、アルコール類は尿酸値を上げる作用があります。飲み過ぎに注意しましょう。

適度な有酸素運動をしましょう

ウォーキングのような軽い有酸素運動を毎日の生活習慣に取り入れて、継続していきましょう。体を激しく動かす無酸素運動はかえって尿酸値を上昇させるおそれがあります。

